



「健康・実践・協力～ひとはみんなのために みんなはひとりのために」

令和 7 年 6 月 吉日

第 2 号

小平三中

小平市立小平第三中学校

学校経営協議会会長 北村明美

コミュニティスクール(C・S)だより

「コミュニティスクール」とは、学校経営協議会を設置した学校のことです。



第2回 学校経営協議会を開催しました

令和7年5月27日(火)16 時～17 時 校長室 出席 11 名(オブザーバー:校長)

◎校長挨拶

いよいよ運動会があります。生徒たちは、やる気に満ち溢れ、どんどんグレードアップしていきます。声もでてきていて、盛り上がっています。ぜひ時間を作って見に来てほしいです。よろしくお願いします。

(6月5日木曜日実施)

◎新委員の紹介

- ・ 渡辺 剛史 委員の紹介をしました。

★協議事項

◎コミュニティスクールに関するアンケートの内容について

峯岸委員に考えていただいた質問や選択肢を委員で共有した。

6 月上旬生徒にアンケートを実施予定なので、今後の参考にしていく。

◎コミュニティスクールだよりについて

- ・第1号を配布しました。
- ・委員の名前、肩書の訂正をしました。
- ・次回日程を記載する。
- ・光ケ丘自治会(35部)の回覧板に今年度のみ挟み回覧してもらう。
(今年度からコミュニティスクールになったことを地域の方々に周知していただくため)



◎今後の活動

●検定の実施について

～ 委員からの意見 ～

- ・先生たちの負担がないように学校経営協議会が担っていく。
- ・一学期は、どのような検定があるかを発信し、二学期に立ち上げていくイメージ
- ・英語検定が一番需要があると思う。3級以上は二次試験に面接がある。学習支援員に面接の練習をしてくださる方がいるため協力をお願いする。
- ・まずは、英検から始める方向でいく。今年度の二学期から始めたい。
- ・4～準2級を範囲とする。
- ・監督の人数も必要になっていく。
- ・準会場の申請、準備から検定後の処理にどれだけ時間がかかるかについても確認する。
- ・CS 側も生徒もわくわくしてやりたいという気持ちを持つ必要がある。生徒たちの声を聞いて、需要を知ってから始めていくとよいと思う。
- ・需要を知ってから進めていくのと、生徒会の役員と話す必要がある。

- ・検定について勉強会をして段取りを知る 実際に検定を実施しているところや業者から説明を聞けるか検討する。

- ① 先ずはアンケート結果を知る。
- ② 生徒会とのやりとりは一学期中のうちに行う（アンケートの結果を共有）

◎その他

- ・意見等交換
- ・7月19日(土) 18:00～20:00 小平市立あおぞら福祉センターにて『わくわく納涼祭』を開催します。
（雨天決行）ぜひご来場ください。

◎次回の予定等の確認

- ・コミュニティスクールについてのアンケート結果をもとに今後の活動について話し合う。
- ・生徒会役員との情報交換



〔次回日程〕 第3回学校経営協議会 6月24日火曜日 16時～17時

学校経営協議会は原則として公開されるものです。傍聴を希望される方は副校長までお問合せください。

鈴木副校長 042(341)0575



学校の花

タイザンボク